

# 浜坂駅前 活気を再び

居組の小舟さんのバス待ちカフェ開設へ



JR浜坂駅前にバス待ちカフェ開設を計画している小舟さん

JR浜坂駅前の再整備は、町にとっても大きな課題になっている。駅北側に広がる商店街に、かつての賑わいはなく、相次ぐ廃業や移転で空き店舗が多い。計画しているカフェには、異業種ができる飲食エリアのほか、人が集まり話し合えるスペースも考えられた。

新温泉町居組で古民家を活用したワークキングスペースを備えるカフェを運営している小舟美穂さん(38)が、JR浜坂駅前にある空き店舗に、時間待ちなどの高校生らが気軽に立ち寄れる「バス待ちカフェ TOMOSHIBI(仮称)」の開設を計画している。具体化に向けて準備を進めており、今秋にはオープンしたい考え。地元の浜坂高の生徒も探究授業の一環で、フィールドワークとして参画する。(岡村博)



JR浜坂駅前の商店街。活性化に向けた再整備が課題になっている。新温泉町居組

## 浜坂高生も授業で参画

バス、リモートワークなど仕事に役立ててもらおうとワークキングスペースの三つの空間を設ける予定だ。

立ち替えて備えるワークキングスペースを駅前にも設けたいと考えていた小舟さんは、浜坂高のコミュニケーションスクールの活動を知り、チャレンジショップやフィールドワークの拠点になればと学校側に協力を打診。快諾を得て、本年度に2年生11人が参画することになった。

「名称の『ともしび』は、せめて『と』だけでも明かりがあれば、商店街が明るくなるこの思いもあるから。高校生には、開設に向けて内部の構想案やアイデアを出してもらおう。いろんな経験をしてもらいたい」と小舟さんは考えている。

高校生の参画は、駅前に入ると呼び込む契機にもなり、にぎわい創出や、町の顔でもある駅前の再整備にも追い風になりそう。浜坂高では、生徒にはさまざまな人とコミュニケーションを取ることの刺激を受け、将来に役立ててもらいたいと期待を寄せる。

小舟さんは「地元の課題に高校生の時に関わるのは大きい。たとえ町外に出たとしても何年かたって町に帰って来れると、町の活力になる。それが地域活性化につながる」と思っています。